

<概要>

平成4年度、我が国の原子力発電所の時間稼働率及び設備利用率は、営業運転中の全発電所（42基、総発電設備容量3,441.9万キロワット）平均で、時間稼働率は75.1%、設備利用率は74.2%であった。

全プラントの運転状況を見ると、前年度に比べて、設備利用率が増加した。主な要因は、中間停止等その他による発電損失割合が減少したことである。

<更新年月>

1998年05月 （本データは原則として更新対象外とします。）

<本文>

平成4年度、我が国の原子力発電所の時間稼働率を表1-1と表1-2に、設備利用率を表2-1と表2-2に示した。これらの表によれば、営業運転中の全発電所（42基、総発電設備容量3,441.9万キロワット）平均で、時間稼働率は75.1%、設備利用率は74.2%であった。全プラントの運転状況を見ると、前年度に比べて、設備利用率が増加した。主な要因は、中間停止等その他による発電損失割合が減少したことである。

BWRの設備利用率が減少した主な要因は、故障・トラブルによる損失割合が増加したことである。またPWRの設備利用率が増加した要因は、定期検査による損失割合が減少したことによる。平成4年度中に定期検査を終了したプラントの平均検査期間は352日（11.7月）となり、平成3年度と比較して55日（1.8月）増となっている。これは、平成元年度が、美浜発電所2号機の蒸気発生器伝熱管損傷事象の影響及び夏期の電力供給確保のための計画段階からの運転期間の調整により、相対的に平均運転期間が短かったためである。

故障・トラブルによる運転停止頻度及び故障・トラブルの件数は、ここ数年低い水準で推移している。

平成4年度の新規運転プラントは次の1機である。

関西電力（株） 大飯原子力発電所 4号機 （PWR 118.0万キロワット）
（平成5年2月2日運開）

<関連タイトル>

日本の原子力発電所の時間稼働率の推移（2004年度まで）(02-05-02-01)

日本の原子力発電所の設備利用率の推移（2004年度まで）(02-05-02-02)

平成4年度我が国の原子力発電所の時間稼働率及び設備利用率 (12-01-01-14)

<参考文献>

(1) 通商産業省資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課編、平成5年度版（平成4年度実績）原子力発電所運転管理年報

(2) 科学技術庁原子力安全局編（平成5年）：平成4年度の原子力発電所における設備利用率について、原子力安全委員会月報、通巻第175号

表1-1 我が国の原子力発電所の時間稼働率

設置者名	発電所名	認可出力 (MW)	時間 稼働率
日本原子力 発電	東 海	166	90.8
	東 海 第 二	1,100	64.9
	敦 賀 1 号	357	65.4
	〃 2 号	1,160	100.0
北 海 道 電 力	泊 1 号	579	77.1
	〃 2 号	579	76.8
東 北 電 力	女 川 1 号	524	72.5
東 京 電 力	福島第一 1 号	460	72.2
	〃 2 号	784	62.8
	〃 3 号	784	89.6
	〃 4 号	784	72.9
	〃 5 号	784	88.3
	〃 6 号	1,100	63.3
	福島第二 1 号	1,100	71.8
	〃 2 号	1,100	62.5
	〃 3 号	1,100	98.3
	〃 4 号	1,100	62.4
	柏崎刈羽 1 号	1,100	85.6
	〃 2 号	1,100	82.0
	〃 5 号	1,100	76.4
中 部 電 力	浜 岡 1 号	540	71.1
	〃 2 号	840	80.1
	〃 3 号	1,100	72.5

(注) 1. ユニット毎の時間稼働率 = $\frac{\text{稼働時間数}}{\text{暦時間数}} \times 100(\%)$

2. 合計機の時間稼働率 (平均時間稼働率) = $\frac{(\text{認可出力} \times \text{発電時間}) \text{の合計}}{(\text{認可出力} \times \text{暦時間}) \text{の合計}} \times 100(\%)$ (平均時間稼働率とは出力按分したものである。)

3. ※印の機は当該発電所の運開始初年度にあたり、運転開始以降の暦時間数に基づく時間稼働率を計上してある。

(出典) 資源エネルギー庁 (編) : 原子力発電所運転管理年報、平成5年度版

表1-2 我が国の原子力発電所の時間稼働率

設置者名	発電所名	認可出力 (MW)	時間 稼働率
関西電力	美 浜 1号	340	63.6
	〃 2号	500	0.0
	〃 3号	826	70.6
	高 浜 1号	826	74.0
	〃 2号	826	55.6
	〃 3号	870	83.0
	〃 4号	870	82.7
	大 飯 1号	1,175	81.2
	〃 2号	1,175	60.5
	〃 3号	1,180	80.2
	〃 4号	1,180	100.0
中国電力	島 根 1号	460	69.5
	〃 2号	820	78.9
四国電力	伊 方 1号	566	95.3
	〃 2号	566	75.5
九州電力	玄 海 1号	559	83.4
	〃 2号	559	75.5
	川 内 1号	890	77.1
	〃 2号	890	77.1
合 計		34,419	75.1
(参 考)			
動燃事業団	ふ げ ん	165	67.5

(注) 1. ユニット毎の時間稼働率 = $\frac{\text{稼働時間数}}{\text{暦時間数}} \times 100(\%)$

2. 合計機の時間稼働率 (平均時間稼働率) = $\frac{(\text{認可出力} \times \text{発電時間}) \text{の合計}}{(\text{認可出力} \times \text{暦時間}) \text{の合計}} \times 100(\%)$ (平均時間稼働率とは出力按分したものである。)

3. ※印の機は当該発電所の運転初年度にあたり、運転開始以降の暦時間数に基づく時間稼働率を計上してある。

(出典) 資源エネルギー庁 (編) : 原子力発電所運転管理年報、平成5年度版

表2-1 我が国の原子力発電所の設備利用率

設置者名	発電所名	認可出力 (MW)	設備 利用率
日本原子力 発電	東 海	166	74.2
	東 海 第 二	1,100	64.2
	敦 賀 1 号	357	64.3
	〃 2 号	1,160	100.0
北 海 道 電 力	泊 1 号	579	75.9
	〃 2 号	579	75.5
東 北 電 力	女 川 1 号	524	72.1
東 京 電 力	福島第一 1 号	460	71.6
	〃 2 号	784	62.3
	〃 3 号	784	89.5
	〃 4 号	784	71.8
	〃 5 号	784	87.7
	〃 6 号	1,100	62.5
	福島第二 1 号	1,100	70.9
	〃 2 号	1,100	62.4
	〃 3 号	1,100	97.9
	〃 4 号	1,100	61.3
	柏崎刈羽 1 号	1,100	84.9
	〃 2 号	1,100	81.5
	〃 5 号	1,100	75.4
中 部 電 力	浜 岡 1 号	540	70.3
	〃 2 号	840	79.1
	〃 3 号	1,100	71.3

(注) 1. ユニット毎の設備利用率＝ $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間数}} \times 100(\%)$

2. ※印の欄は当該発電所の運開始年度にあたり、運転開始以降の暦時間数に基づく設備利用率を計上してある。

(出典) 資源エネルギー庁(編): 原子力発電所運転管理年報、平成5年度版

表2-2 我が国の原子力発電所の設備利用率

設置者名	発電所名	認可出力 (MW)	設備 利用率
関西電力	美 浜 1号	340	61.8
	〃 2号	500	0.0
	〃 3号	826	69.5
	高 浜 1号	826	72.9
	〃 2号	826	54.8
	〃 3号	870	82.2
	〃 4号	870	81.9
	大 飯 1号	1,175	80.2
	〃 2号	1,175	59.7
	〃 3号	1,180	79.5
	〃 4号	1,180	100.0
中国電力	島 根 1号	460	69.0
	〃 2号	820	77.9
四国電力	伊 方 1号	566	95.2
	〃 2号	566	73.9
九州電力	玄 海 1号	559	81.4
	〃 2号	559	74.5
	川 内 1号	890	76.1
	〃 2号	890	76.0
合 計		34,419	74.2
(参 考)			
動燃事業団	ふ げ ん	165	65.9

(注) 1. ユニット毎の設備利用率＝ $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間数}} \times 100(\%)$

2. ※印の欄は当該発電所の運開始年度にあたり、運転開始以降の暦時間数に基づく設備利用率を計上してある。

(出典) 資源エネルギー庁(編): 原子力発電所運転管理年報、平成5年度版